

龍谷大学真宗学会第78回大会御案内

慈光照護のもと、会員の皆様におかれましては益々ご健勝にて二利双行のことと拝察申し上げます。

真宗学会は大正12(1923)年に創立され、101周年を迎えます。これひとえに会員の皆様はじめ、常に暖かいご理解とご支援を賜ってきた諸機関、関連学会の皆様のおかげと深く感謝申し上げます。今年度第78回大会は、真宗学の継承と進展を目指し、私たち自身の研究教育の成果を学びあう機会としたいと存じます。例年通り、午前中は研究発表、午後には記念講演を予定しております。

皆様のご参加を仰ぎ、有意義な大会となりますことを念じております。

令和6(2024)年9月15日

龍谷大学真宗学会

学会長 鍋島直樹

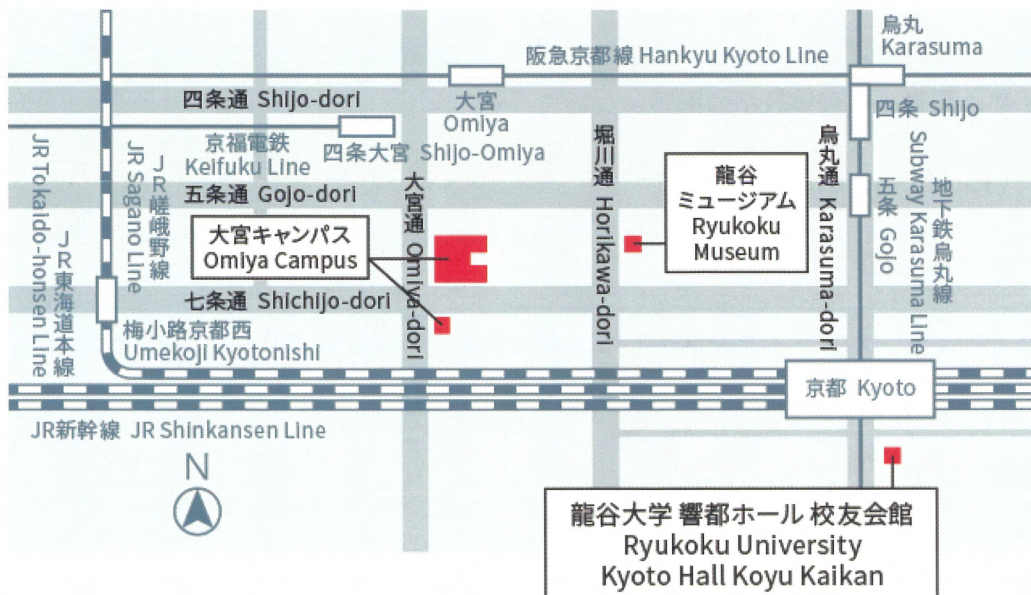
大会委員長 殿内恒

大会要項

期日 令和6(2024)年11月7日(木)

場所 龍谷大学大宮学舎 清和館3階ホール

大宮学舎周辺部



龍谷大学真宗学会事務局

電話 075-343-3311 (内線 5302)

大会日程

1. 研究発表 (9:15～12:15)

- ① 「親鸞における女人救済観の再考」
岩崎 慧 (龍谷大学博士課程)
- ② 「『顕浄土方便化身土文類』における末法思想の受容と展開
—特に末法と法滅に注目して—」
釋氏乗智 (龍谷大学博士課程)
- ③ 「『真仏土文類』における『涅槃経』『十住菩薩、少分見仏性』の引用意図」
石山恵然 (龍谷大学博士課程)
- ④ 「毎田周一の懺悔思想 —親鸞における懺悔の意義との比較を中心に—」
近藤義行 (龍谷大学博士課程)
- ⑤ 「七里恒順の説教と倫理」
釋 大智 (龍谷大学講師)
- ⑥ 「親鸞筆『観無量寿経註』『阿弥陀経註』の成立時期について」
深見慧隆 (龍谷大学講師)
- ⑦ 「大分県西光寺蔵 新出の六巻本『考信録』について」
西村慶哉 (龍谷大学講師)
- ⑧ 「宗教的背景のない医療現場における臨床宗教師の実際」
森田敬史 (龍谷大学教授)

2. 評議員・理事会 (12:20～13:20)

評議員・理事の先生方は、昼食をご用意いたします。

3. 記念講演 (13:30～15:00)

講師：森田 眞円 (京都女子大学名誉教授 龍谷大学元教授)

題目：法然、親鸞への善導教学の影響について

4. 記念撮影 (15:10～15:20)

5. 総会 (15:30～16:00)

※感染症の拡大などにより、オンラインを活用して大会を開催する場合があります。詳細は、龍谷大学真宗学会ホームページ (<https://shinshu-gakkai.omiya.ryukoku.ac.jp/>) にて発表いたします。

大会本部連絡先

〒600-8268

京都市下京区七条大宮

龍谷大学大宮学舎 殿内 恒 研究室 及び

同 真宗学合同研究室 運営協議会 釋氏 乗智

E-mail:ryukokushinsyu@gmail.com